

特定行政庁より報告を受けた建築物における事故の概要

(平成22年12月1日～)

※前回部会において調査終了とされたものを除く

特定行政庁より報告を受けた建築物事故の概要

(平成22年12月1日～平成26年9月17日)

事故内容	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度 (注2)	
	事故件数	被害者あり (うち死亡)	事故件数	被害者あり (うち死亡)	事故件数	被害者あり (うち死亡)	事故件数	被害者あり (うち死亡)	事故件数	被害者あり (うち死亡)
部材の落下	5	3(0)	16	9(0)	13	7(0)	5	3(0)	2	0(0)
壁タイル等	3	1(0)	10	3(0)	6	2(0)	3	3(0)	2	0(0)
天井	1	1(0)	4	5(0)	4	3(0)	2	0(0)	0	0(0)
看板	1	1(0)	1	1(0)	2	2(0)	0	0(0)	0	0(0)
テラス等	0	0(0)	1	0(0)	1	0(0)	0	0(0)	0	0(0)
転落	3	3(1)	4	4(3)	5	9(2)	1	1(0)	1	1(1)
ドア・門	0	0(0)	1	1(0)	2	2(0)	1	1(0)	0	0(0)
シャッター	1	1(1)	2	2(2)	2	2(2)	0	0(0)	1	2(0)
工事現場	1	0(0)	9	7(0)	3	2(0)	3	1(0)	5	3(1)
自走式駐車場	0	0(0)	2	1(1)	2	4(0)	0	0(0)	0	0(0)
ガラス	0	0(0)	1	1(0)	1	1(1)	0	0(0)	0	0(0)
倒壊	0	0(0)	1	2(1)	2	4(0)	0	0(0)	1	0(0)
その他	0	0(0)	0	0(0)	1	0(0)	2	0(0)	0	0(0)
合計	10	7(2)	36	27(7)	31	31(5)	12	6(0)	10	6(2)

注1) 「平成22年度」は、平成22年12月1日から平成23年3月31日までの件数等である。

注2) 「平成26年度」は、平成26年4月1日から平成26年9月17日までの件数等である。

※ 特定行政庁等から情報提供があった建築物に関する事故であって、社会資本整備審議会建築分科会建築物等事故災害対策部に報告された事故の概要を掲載(平成26年9月17日までに報告された事故の概要を掲載)

1. 事故内容:部材の落下

1-1: 前回の部会までに報告し、調査が終了していなかった事故

発生年月日	発生場所	建築物用途	状況	被害の程度	調査の状況・事故原因	再発防止策
H24/12/08	岡山県内	ホテル、商業施設	地上約30m上のガレリア天井に取り付けられているエキスパンジョイント部のアルミパネル1枚(1m×0.6m、重さ約4.4Kg)が落下した。	なし	○特定行政庁において調査を実施。	調査中 ○落下したパネル部分に代替材を取り付け及びエキスパンジョイント部分の天井パネルの固定ビスの追加設置を実施。
H25/05/25	岡山県内	ホテル、商業施設	2階広場の天井に取り付けられたアルミ製部材1個(14.0cm×3.5cm、厚さ約2.0mm約36g)が床に落下した。	なし	○特定行政庁において調査を実施。	調査中 ○同様に取り付けられた天井部材全ての撤去を実施。
H25/10/04	富山県内	店舗	店舗内のプラスターボード下地にタイル貼りされた内壁が崩落(範囲:幅約6m、高さ約1.8m)し、2名が下敷きになった。	重傷1名 軽傷1名	○特定行政庁において調査を実施。	○崩落した内壁においては、持出壁を取止め、プラスターボード下地にクロス貼りの補修施工を実施。

1-2: 前回の部会以降に追加した事故

発生年月日	発生場所	建築物用途	状況	被害の程度	調査の状況・事故原因	再発防止策
H26/05/28	広島県内	店舗 (現在は空き屋)	空き店舗において、外壁(モルタル)の一部(縦3m×横4m)が崩落し、歩道及び道路にモルタル片が散乱した。	なし	○特定行政庁において調査を実施。 ○建物の老朽化によるものと考えられる。(築約50年)	○管理者において歩道上のテント屋根等を撤去し、歩道の建物側に本足場及びシートを設置。
H26/08/26	京都府内	倉庫兼住宅	倉庫兼住宅において、5階窓のモルタル製上枠(幅約3.3m)が建物前の歩道及び車道に落下した。	なし	○特定行政庁において調査を実施。 ○建物の老朽化によるものと考えられる。(昭和47年に建築)	調査中 ○落下の危険がある場所について、歩道及び車道の通行規制を実施。 ○所有者において、落下のおそれのある箇所について改修を予定。

2. 事故内容:転落

2-1: 前回の部会までに報告し、調査が終了していなかった事故

発生年月日	発生場所	建築物用途	状況	被害の程度	調査の状況・事故原因	再発防止策
該当なし						

2-2: 前回の部会以降に追加した事故

発生年月日	発生場所	建築物用途	状況	被害の程度	調査の状況・事故原因	再発防止策
H26/03/15	沖縄県内	ホテル	ホテルの乗用エレベーターにおいて、5階の乗り場の扉が開いた状態であったため、利用者が誤って約6メートル下のかごの天井に落下した。	重傷	○特定行政庁において調査を実施。 ○当該機は2台並べて設置されており、使用していない方のエレベーターを保守業者が前日の点検後に乗り場の扉を閉め忘れたことにより、乗り場扉が開いた状態となっていた。	○保守業者において、乗り場扉の開閉作業時は安全柵を確実に実施。 ○戸閉時に指差し呼称及び施錠状態の確認を徹底。
H26/06/20	岩手県内	ホテル	ホテルの7階客室において、客室の窓(床から窓台までの高さ40cm、有効開口幅22.5cm)から3階の屋根部分に転落した。	死亡	○特定行政庁において調査を実施。 ○事故、事件の両面から調査中※	調査中

※部会での委員からの指摘を踏まえて、修正しています。

3. 事故内容:シャッター

3-1: 前回の部会までに報告し、調査が終了していなかった事故

発生年月日	発生場所	建築物用途	状況	被害の程度	調査の状況・事故原因	再発防止策
該当なし						

3-2: 前回の部会以降に追加した事故

発生年月日	発生場所	建築物用途	状況	被害の程度	調査の状況・事故原因	再発防止策
H26/08/08	沖縄県内	店舗	店舗の管理用シャッターにおいて、開店時に半分(1.6メートル程度)開けていたシャッターを全開にするため、シャッターを上げたところ、2メートル程上がった時点でシャッターが落下し、シャッターの下のベンチに腰掛けていたお客2名に当たった。	重傷1名 中等傷1名	○特定行政庁において調査を実施。 ○シャッターBOX内のモーターとシャフトを繋ぐチェーンが破断したためと考えられる。	○ベンチの撤去を実施 ○管理者において、県内全店舗のシャッターBOX内の腐食、不具合等の点検を実施。

4. 事故内容:工事現場

4-1: 前回の部会までに報告し、調査が終了していなかった事故

発生年月日	発生場所	建築物用途	状況	被害の程度	調査の状況・事故原因	再発防止策
該当なし						

4-2: 前回の部会以降に追加した事故

発生年月日	発生場所	建築物用途	状況	被害の程度	調査の状況・事故原因	再発防止策
H26/04/03	兵庫県内		解体中の建物において、足場(高さ約16m、幅約18m)が道路側へ倒壊し付近を通りかかった2名が下敷きとなった。	重傷1名 軽傷1名	○特定行政庁及び地方整備局において調査を実施。	調査中 ○倒壊した足場の撤去を実施。

H26/04/19	大阪府内		建築中の建物において、杭打ち機を所定の場所へ移動していた時に横転し乗用車2台が押しつぶされた。	なし	○特定行政庁において調査を実施。 ○やわらかい地面をさけて通行する予定であったが、敷き鉄板により、その場所が不明確となり、誤って通行したためと考えられる。		○道路部分にはみ出たブームの撤去を実施。
H26/06/03	京都府内	共同住宅 保育所 児童館	組立中の足場にて、7層目から9層目に向けて作業者が鋼製足場板(縦1.83m×横0.24m、8.5kg)1枚を手渡ししていたところ、誤って落下し、7層目に仮置きしていた足場板(3枚)上に落ち、計4枚が落下した。落下した足場板のうち1枚が公道に停車中の車両に当たり損傷させた。	なし	○特定行政庁において調査を実施。 ○足場7層目の荷揚げ者と9層目の受取者双方の合図・確認が徹底されていなかったためと考えられる。 ○足場外側の養生シートの一部が、作業者の出入り等のため、まくられていたため、公道に落下したものと考えられる。		○安全誘導員の増員、道路側への落下防止シートの追加、朝礼等でのKY活動(危険予知訓練)の強化等を実施。
H26/06/20	京都府内	共同住宅 保育所 児童館	工事中の建築物1階の屋上において、作業者が単管パイプ用のクランプが入ったケースを運搬中、エアコン室外機の台につまずき、クランプ2個が隣接する保育園の屋根(ポリカーボネート製)に落下し、屋根が破損した。	なし	○特定行政庁において調査を実施。 ○資材を運搬する作業者の不注意によるものと考えられる。	調査中	○保育園の休園日に安全対策を行ったうえで、工事を再開する。
H26/08/21	東京都内		解体中の建物において、仮囲い付近の敷き鉄板を撤去する際に、仮囲いの支柱が障害となるため、支柱を撤去したところ仮囲いのパネルが道路側に倒壊し、歩行者(1名)がパネルと歩道のガードレール間に挟まれた。	死亡	○特定行政庁において調査を実施。	調査中	

5. 事故内容:倒壊

5-1:前回の部会までに報告し、調査が終了していなかった事故

発生年月日	発生場所	建築物用途	状 況	被害の程度	調査の状況・事故原因	再発防止策
該当なし						

5-2:前回の部会以降に追加した事故

発生年月日	発生場所	建築物用途	状 況	被害の程度	調査の状況・事故原因	再発防止策
H26/04/24	愛知県内	店舗兼住宅	店舗兼住宅において、住宅が隣地に自然倒壊し、駐車中の車2台が大破した。	なし	○特定行政庁及び地方整備局において調査を実施。 ○建物の老朽化によるものと考えられる。(昭和30年代に建築)	○倒壊した建物の撤去を実施。

6. 事故内容:その他

6-1:前回の部会までに報告し、調査が終了していなかった事故

発生年月日	発生場所	建築物用途	状 況	被害の程度	調査の状況・事故原因	再発防止策
H25/03/12	京都府内	工作物	タワー上部(地上から約46m付近)が破断し、ナセル(発電機付き約38トン)及びブレード(3枚羽根、直径50m、約2.4トン/枚)が落下した。	なし	○特定行政庁において調査を実施。 ○タワートップボルトが疲労により折損(17本)し、タワー溶接部の応力の増大により、溶接止端部近傍の内面で疲労亀裂が発生し、ナセルが落下したものと考えられる。	調査中 ○定期点検において、超音波探傷を実施し、タワートップボルトの亀裂を早期発見。 ○ボルト交換時等のマニュアルの整備し、再発を防止及び維持管理の徹底。 ○引き続き、タワートップボルト折損防止対策の検証を行う。

6-2:前回の部会以降に追加した事故

発生年月日	発生場所	建築物用途	状 況	被害の程度	調査の状況・事故原因	再発防止策
該当なし						